



指導案

今日は句会 ～俳句を作る～

1 学習のねらい

- ・俳句は、「5音・7音・5音」の17音でできていること、季語が入ることを理解する。
- ・自分だけの表現を見つけることやそれを交流することの楽しさを味わう。

2 番組活用にあたって

俳句作りをするためには、準備運動が必要です。名句を覚えて俳句に親しむことから始めるとよいでしょう。5・7・5のリズムを生かしたことば遊びや俳句カルタ作りなども楽しく活動できます。また、季節を表すことば集めなどをすると、季語に対する抵抗感がなくなります。一番大事にしたいことは、その子らしい「発見」ですので、「発見メモ」のようなものを用いて、発見したことを短くメモし、それを教室のどこかに掲示しておくようにすると番組の中で黛まどかさんがお話ししている「五感が磨かれる」ようになります。

俳句は17音が基本です。文字数ではないことに気をつけましょう。

※しゃしん（3音）きっと（3音）ちょっと（3音）というように数えます。

また、季語を重ねない、説明せず省略するなど、こうした方がよいということは、いろいろありますが、自分の感じたことを17音の世界にまとめることができたことを褒めることが先決です。添削すればするほど、子どもたちの創作意欲は減退していくものです。できれば、先生も子どもたちといっしょに一句ひねってみると、大いに盛り上がります。

3 指導の流れ

① 「俳句」について知っていることはありますか。

- ・「5・7・5」って聞いたことがあるよ。
- ・季語が入るんだよ。
- ・サトル、リン、シュンの句から、表現の楽しさやおもしろさを見つけさせる。



② 俳句を作って、句会を開こう！

1. 番組を視聴する。
2. 「5音・7音・5音」「季語」を確認する。
3. サトル、リン、シュンの句から、表現の楽しさやおもしろさを見つけさせる。



③ 俳句クイズをして、俳句を楽しもう

「ころもがえ ○○○○○○ かるくなる」小学校6年生の児童の句

- ① この句の季語は何か。また、季節はいつか。
- ② 空いている部分にどんな言葉が入るか、考えよう。
- ③ 自分の入れた言葉を発表しよう。なぜ、その言葉を入れたのか理由も話そう。
- ④ この句の作者が入れた言葉を発表する。
『タンスの体重』が作者の入れた言葉。どういう意味かをみんなで考える。



④ 俳句を作ろう。（俳句を作る活動は取材活動をした後、別の時間に設定する。）

<時間をかけて指導する場合>

- ①最近、発見したことを散文で書く。②俳句にしてみたいものを選び、俳句を作る。

<時間をかけずにお手軽に指導する場合>

- ①作る時季にあった季語をいくつか選んでプリントする。
- ②子どもの作った俳句作品をいくつか紹介する（ワークシートにのせておくとい）
- ③自分で作ってみたいものを選んで作る。